

ヨーヨー 世界チャンピオンを祝福



8月にアメリカ・クリーブランドで開催された世界大会で優勝し、通算6度目の世界チャンピオンとなった高田柁さん(横浜市大生)より、国内外での活動の近況などを伺いました。横浜在住のパフォーマーとして「シティプロモーションや、青少年育成などでご恩返ししたい」と志も高く、頼もしいです。

リレーフォーライフ2019

9月8日、がん患者・サバイバーの皆さまを応援する同イベントを、臨港パークで開催。横浜市会がん撲滅議連の一員として、今年も参加させて頂きました。



薬物乱用防止キャンペーン



クイーンズスクエア横浜で開催された同イベントへ。違法薬物使用の検挙は毎年3000件以上、そのうち10代20代の若者が半数を占めるといふ深刻な現状があります。乱用防止とともに総合的な依存症対策の強化へ、更に力を注いで参ります。

略歴

昭和49年生まれ。大分県出身。45歳。横浜市金沢区在住。妻と2女の4人家族。平成9年、創価大学法学部卒業。平成15年、米国・ワイオミング大学大学院 公共政策学 修士課程修了。大手物流会社を経て、平成27年4月、横浜市議員に初当選、現在2期目。公明党神奈川県本部企業団体局次長、学生局次長、金沢支部支部長。



学校体育館へのエアコン設置が前進!

8月30日、公明党横浜市議団として推進してきた、学校体育館へのエアコンのモデル設置第1号となった、港北区・日吉南小学校を視察。暑さ寒さ対策はもちろん、住宅地に囲まれた学校として、騒音対策は切実な課題であった様ですが、「暑い時も窓を閉め切って使用できるので、大変に有難いです」と校長先生。今後、様々な課題を検証しながら、他校への設置も推進して参ります。



横浜市会 令和元年 第3回定例会を開催

見ると! 聞くと! 言おう!
横浜市会 9月3日(水)~10月16日(水)
令和元年 第3回定例会
9月3日(火)~10月16日(水)まで

短信 「市民の皆さまと共に」

地域の夏祭りも最終盤

各所の会場に伺い、皆さまと懇談・踊りの輪に入って、最後まで楽しい時間を過ごさせて頂きました。

家庭防災員研修を受講

3回連続講座の最終にあたるこの日は、地図を使った災害図上訓練(DIG)を実施。居住地域にどんな危険があり、どんな備えが必要なのか、チームで話し合いながら、新たな気づきが生まれます。

野口英世アフリカ賞 受賞者歓迎式典

8月31日金沢区内の長浜野口記念公園内・長浜ホール(かつて野口英世博士が勤めた横浜検疫所が現在の記念公園)にて、前日に閉幕したアフリカ開発会議に合わせ、受賞者を野口博士所縁の地に地元小学生の演奏などで歓迎。日本・アフリカの絆を更に深める、心温まる交流のひと時となりました。

金沢漁港・汐祭り

海の安全と豊漁を願って、毎年9月1日に開催。今年も快晴の空の下、多くの関係者が集い盛大に行われました。市民の大切な財産である漁港をさらに盛り立てていきます。

ブランチ横浜南部市場がグランドオープン

9月20日、待望のブランチ横浜南部市場が開業。白い建物が青空に映える最高の天気の中、オープニングセレモニーを開催。夜には芝生広場にてラグビーワールドカップ「日本vsロシア」のパブリックビューイングも行われ、開放的な雰囲気の中、熱く盛り上がりました。今後さらに飲食店などの出店も予定されており、賑わいが増していきます。



シーサイドラインの無人自動運転が再開

9月2日、公明党横浜市議員団で横浜シーサイドライン本社を訪問。6月1日の逆走事故以来、国交省運輸安全委員会などによる原因究明と再発防止策を進めてきた結果「安全が確保された」として無人自動運転の再開が決定(9月6日から運行再開中)。視察では、車両のシステム改修による安全対策などについて確認。無人自動運転の再開で、事故発生前の98%まで輸送率が回復。「早期の100%運行を」との要望に対し三上章彦社長より「新しい車両の導入で、年内の100%運行を目指したい」との表明がありました。

横浜市上郷・森の家が リニューアルオープン

9月11日、公明党横浜市議員団で、9月1日にリニューアルオープンした同施設を視察。一般市民にも解放され、市内小学校の体験学習でも利用される施設。改装直前にも視察に来ていましたが、自然の豊かさと重厚な造りは残しつつ、客室やレストランが明るくなり、キャンプ場も併設して、快適な寛ぎの場に生まれ変わりました。予約も80~90%埋まっているとの事で、順調な滑り出します。



きょうだい児に思いを...

9月14日、関内ホールで開催された「病気や障害がある子どもの『きょうだい児支援』」に関する研修会に参加。病気・障害の子を持つ家庭の支援の中でも見落とされがちな「きょうだい」の存在。私自身もこれまで気付かなかった新しい課題を教えて頂きました。現状を学び、為すべき事を模索して参ります。



皆さまの声を お聞かせ下さい

FAX:045-345-4345

たけのうち猛
オフィシャルサイト
takenouchi-takeshi.com



SNS(LINE・Facebook)の
タイムラインで
日々の活動を報告!



事務所: 富岡西3-38-1-101 E-mail: info@takenouchi-takeshi.com

集中豪雨・台風15号の猛威

復旧・復興に奔走

9月3日に発生した集中豪雨、および9日未明に横浜に最接近した台風15号により被災された皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。今回の災害では、横浜市でも特に金沢区内に被害が集中しており、海と山と自然豊かな金沢区は、その分自然災害の影響も大きいことがあらためて浮き彫りになりました。

国や県とも連携を図り、早期の復旧・復興に全力を尽くしていくことはもちろんですが、今回の災害を教訓に「どこよりも災害に強い、安心・安全な金沢区!」の構築へ、全力で取り組んで参ります。



集中豪雨の被害 (9月3日)

夕方から数時間降り続いた猛烈な雨により、金沢区内ではがけ崩れ、道路の冠水や陥没、床上・床下浸水など多数の被害が発生。区役所、土木事務所と連携を取りながら夜中まで各地の被災状況の確認。

翌朝(4日)も三浦のぶひろ参院議員と共に被害を受けた地域を訪問。横浜市建築局へ床上浸水した市営富岡西ハイツの畳交換を要望するなど、皆さまから頂いた声をもとに生活復旧支援を迅速に。低地地区において下水が逆流し、家屋内のトイレや風呂、流し台などから汚水が吹き出す被害があったことも確認しました。

集中豪雨による市内の被災状況 (9月6日 横浜市最終発表)

●床上浸水	32件(金沢区内31件1世帯)
●床下浸水	24件(金沢区内8件)
●店舗等の浸水被害	27件(金沢区内12件)
●道路隆起など	27件(金沢区内18件)
●がけ崩れ	14件(金沢区内10件)
●ブロック塀倒壊	6件(金沢区内1件)
●車両破損、下水逆流、冠水など	60件(金沢区内21件)



▲富岡西ハイツでは車6台の水没も ▲池子トンネル入口付近の土砂が崩落、一時通行止めに ▲「釜利谷東小入口」交差点など、区内10か所以上で道路隆起も ▲三浦のぶひろ参院議員と共に、被災地域を訪問し被害を確認

深刻な台風15号の被害

9月9日未明に横浜に最接近した台風15号では、がけ崩れや工事中ビルの足場の崩落、倒木や冠水、停電など、多数の被害が発生し、国道16号線や環状4号線の一部が通行止めになるなどし、いたるところで交通渋滞も引き起こしました。私も前夜から区内を巡り、早期の被災状況の把握と行政当局との対応連携を行って参りました。



▲区役所前で解体中のビルの足場が崩落。国道16号線が一時通行止めに ▲朝比奈インター付近のがけ崩れにより、環状4号線も一時通行止めに



▲区内いたるところで停電も発生 (写真は笹下釜利谷道路の二本松トンネル) ▲公園・街路樹の倒木も多数 ▲物流がマヒし、コンビニの商品が補充されない状況も。(10日)

金沢産業団地に高波の大打撃

海沿いの護岸が高波で破壊され、大規模な浸水で、海から離れたブロックでも建物内に浸水し、事務機器や車両、商品が水に浸かるなど、事業者によっては数千万から億単位の甚大な被害が出ています。私も発災翌日に現地を確認し崩れた個所の応急処置を要望、早速土嚢が設置されました。今回テトラポッドが入っていない箇所が高波で破壊されており、本格的な修復の際にテトラポッドの投入も検討するように、併せて申し入れを行っています。



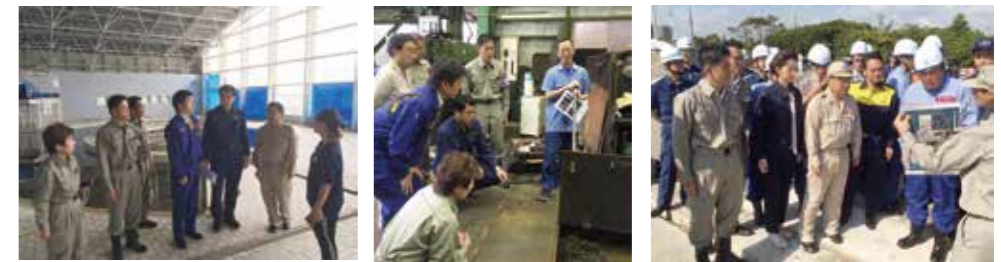
▲被災した事業所の建屋 ▲高波で破壊された護岸

国との連携で、早期の復旧、事業再開支援を全力

台風15号による市内の被災状況 (9月24日 横浜市最終発表)

●住家一部破損	831件(金沢区内62件)
●床上浸水	10件(金沢区内2件)
●店舗/会社等の浸水被害	482件(金沢区内335件)
●道路被害	23件(金沢区内12件)
●がけ崩れ	35件(金沢区内12件)
●ブロック塀倒壊	35件(金沢区内1件)
●倒木	658件(金沢区内57件)
●冠水	44件(金沢区内13件)
●飛散物などによる被害	840件(金沢区内363件)

金沢産業団地の被害 483事業所 540件※上記に含む
 ●建屋への浸水等 309件
 ●車両水没、機械水没、その他の物の破損等 231件



▲リネツ金沢も甚大な被害 ▲被災事業者からの聞き取り ▲赤羽国交相へ被災状況を直接報告 (9月12日)

9月12日に赤羽一嘉国土交通大臣に被災状況を報告。18日には経産大臣政務官の中野洋昌衆院議員が470社を超える事業者が高波で浸水した金沢産業団地を訪問し、事業者から被災状況を聴取。面談した横浜金沢産業連絡協議会の沼田昭司会長からは、被災事業者の操業再開へ踏み込んだ支援の要請がありました。災害復旧や早期の事業再開へ国の支援が欠かせない中、公明党チーム3000の国会・地方議員のネットワーク力を発揮。横浜市長、市議会としても国に対する緊急要望を行い、激甚災害指定に準じた国の財政支援などが決まりました。

自然災害に備えて

- ご自宅や事業所の火災保険など、どのような災害でどのような補償があるかを確認下さい。安価な火災保険などでは「全壊でなければ補償しません」といったものもあり注意が必要です。
- 「隣家からの飛散物で我が家の車が壊れた」という場合でも、自然災害の際は基本的に免責となり、補償を求めることはできません。我が家の周りにどのような危険があるか、日常からしっかりと点検し、お互いに損害を与えないように安全管理を行うことが大切です。
- 浸水が心配なお宅や店舗には、土木事務所で土嚢を配布しています。
- 風水害を受けた際の救済支援などの窓口(金沢区)について、以下のページをご参照下さい。
https://www.city.yokohama.lg.jp/kanazawa/kurashi/bosai_bohan/saigai/joho/20190911145403666.files/0003_20190913.pdf